



施策 I – 1 浸水被害の軽減と対策の強化

近年の局地的な大雨等に対し、浸水被害を軽減するため、地域の状況に応じた効率的な雨水整備を推進します。

【主な取組み】

☞重点地区の整備

⇒重点13地区の65.1mm/hr 対応の整備（完了7地区、着手2地区）

☞その他一般地区の整備

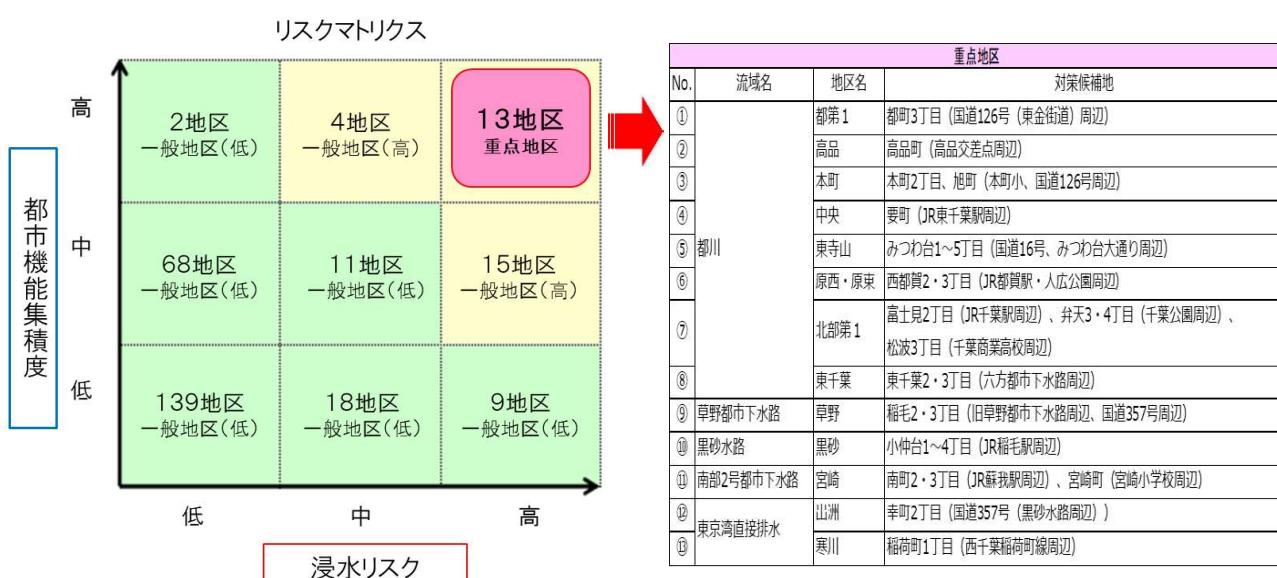
⇒令和元年10月25日大雨などによる浸水被害のあった地区的整備

☞下水道施設の耐水化

⇒浸水が想定される処理場、ポンプ場*の耐水化

◆重点地区の整備

- 近年の降雨特性や都市機能の集積度等を踏まえ、選択と集中の観点から重点的に対策を進める地区の選定および整備順位に関しての基本事項の検討を進め、2017（平成29）年8月に「千葉市雨水対策重点地区整備基本方針」を策定しました。
- 市街化区域*の279地区に対して、大雨時に浸水リスクが高く、被害が発生した場合に経済的損失が大きい都市機能が集積している13地区を選定しました。
- 重点地区については、計画降雨（10年確率）を、従来の53.4mm/hrから65.1mm/hrに引き上げ、貯留施設の整備などの対策の強化を図ります。





施策 I－1 浸水被害の軽減と対策の強化

重点地区	浸水リスク・都市機能集積度が「高」であり、65.1mm/hr対応での整備の必要性が高い。
一般地区（高）	浸水リスク・都市機能集積度の一方が「高」、もう一方が「中」であり、65.1mm/hr対応での整備の必要性がある。
一般地区（低）	重点地区、一般地区（高）以外の地区。

浸水リスク → 浸水実績、浸水想定深、地下施設の有無

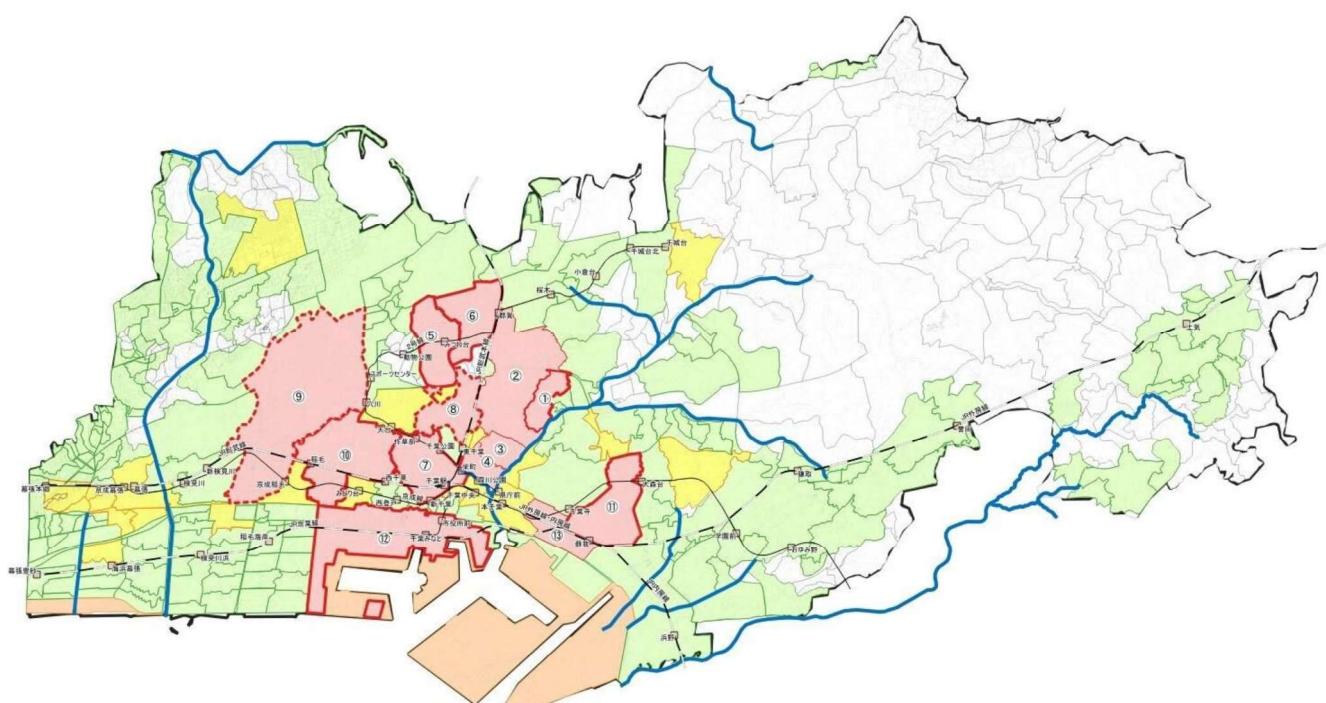
都市機能集積度 → 浸水想定被害額、防災関連施設・緊急輸送道路の有無、駅の有無



市街地の浸水状況



JR千葉駅前の浸水状況



5 主要施策

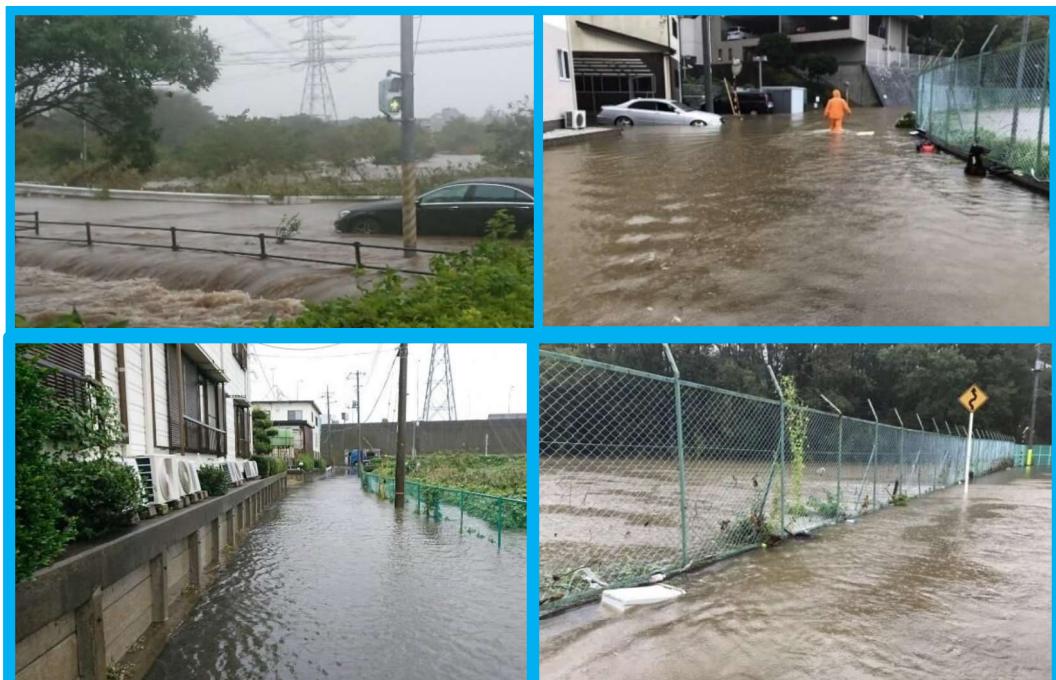
※重点地区（赤色着色）のうち、計画期間内で完了予定は赤線実線、着手予定は赤点線で囲った地区



◆その他一般地区の整備

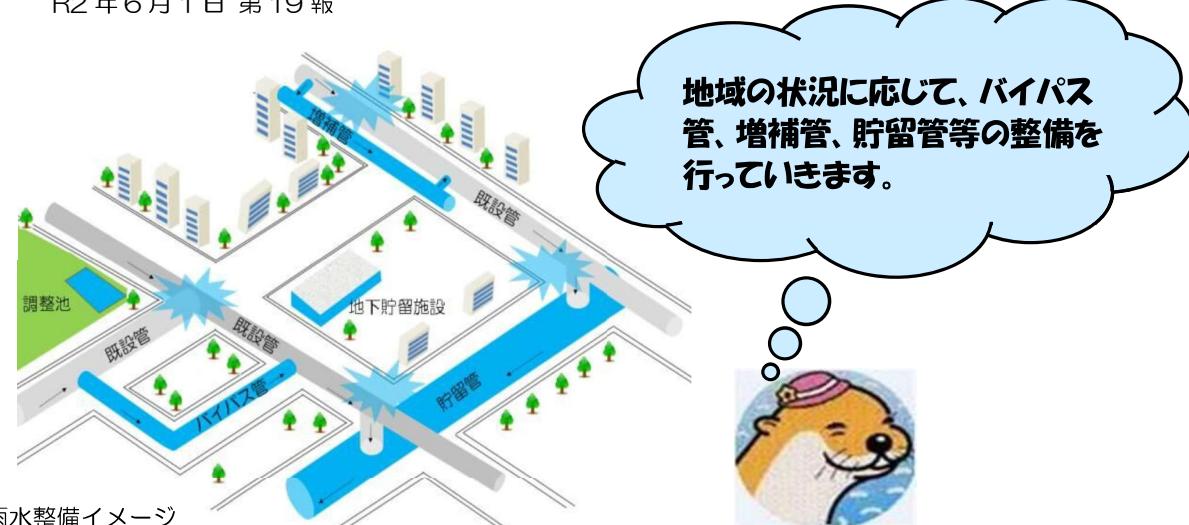
- 緑区では、2019（令和元）年10月25日に本市における観測史上最大となる時間最大降雨量89.5mm（累計雨量が329mm/日）を記録しました。

●重点地区以外の一般地区においても、多数の浸水被害が発生しているため、地域状況に応じた手法を検討し、浸水被害軽減対策を実施します。（工事・防水板設置助成など）



	中央区 (大森小)	花見川区 (犢橋中)	稲毛区 (区役所)	若葉区 (白井小)	緑区 (土気南小)	美浜区 (区役所)	合計
1時間最大雨量	63.5mm	37.5mm	39.5mm	71.5mm	89.5mm	33.0mm	
累計雨量	236mm	191mm	163mm	321mm	329mm	125mm	
床上浸水	3件	1件	0件	12件	23件	0件	39件
床下浸水	6件	7件	1件	11件	51件	2件	78件

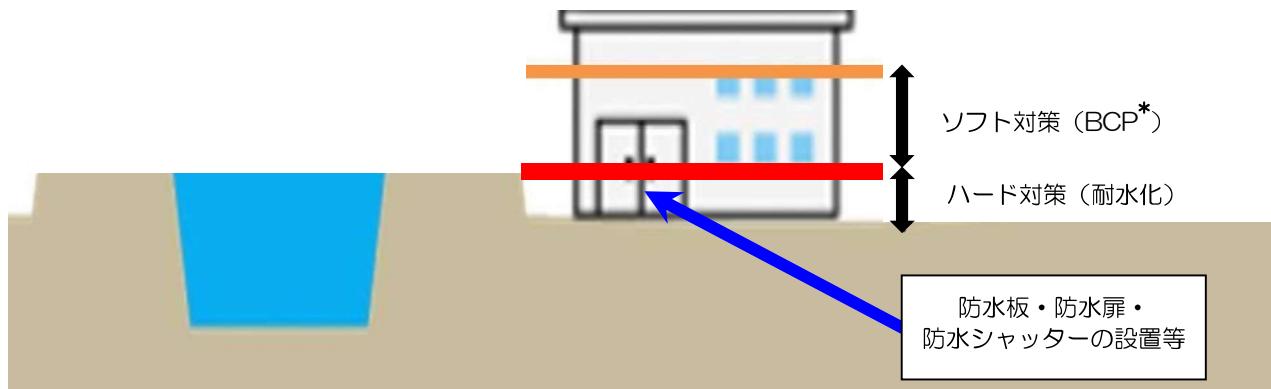
R2年6月1日 第19報





◆下水道施設の耐水化

●河川が氾濫し洪水が発生した場合、地震により津波が発生した場合及び高潮が発生した場合に、浸水が想定される下水道施設（処理場、ポンプ場*）の耐水化を図ります。



ポンプ場浸水対策





具体的取組

取組 1		重点地区の整備																							
概要		近年の局地的な大雨などにより、整備が完了した地区や低地部等で再び浸水被害が発生していることから、浸水リスクや都市機能の集積度が高い13地区を「重点地区」として位置付け、整備水準を従来の1時間あたり53.4mmの降雨から65.1mmの降雨に引き上げ、対策を強化します。																							
主な事業	①東寺山地区 ②宮崎地区（横水路以外） ③宮崎地区（国道357号横水路） ④都第1地区 ⑤出洲地区 ⑥原東・原西地区 ⑦北部第1地区 ⑧東千葉地区※1 ⑨草野地区※1 ⑩高品※2、⑪本町※2、⑫中央※2、⑬寒川※2																								
	※1 計画期間内は着手のみ ※2 事業着手はR15年度以降に予定																								
	実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14												
	東寺山地区	⇒	⇒	⇒																					
	東千葉地区							⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒												
	宮崎地区① (横水路以外)	⇒	⇒	⇒	⇒																				
	宮崎地区② (横水路)		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																	
	都第1地区	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																			
	黒砂地区			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒												
	出州地区			⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒												
	草野地区			⇒	⇒	⇒		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒												
	原東・原西地区						⇒	⇒	⇒	⇒	⇒														
	北部第1地区	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒																		
インプット		整備完了地区						7地区																	
アウトプット				目標の方向性				現状値 (R4)			目標 (R14)														
重点地区整備率				増 (↑)				0 %			54 %														



施策 I – 1 浸水被害の軽減と対策の強化

取組 2	その他一般地区の整備											
概要	2019（令和元）年10月25日の大雨で被災した地区やその他の地区の整備を行い、浸水被害の軽減を図るとともに、他事業関連等の整備も進めます。											
主な事業	<p><2019（令和元）年10月25日の大雨で被災した箇所></p> <p>千城台南地区 古市場地区 誉田地区ほか</p> <p><その他・他事業関連等></p> <p>寒川地区 稻毛海岸地区 蘇我地区 塩田地区ほか</p>											
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
令和元年 10 月 25 日被災箇所	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒							
その他・他事業関連等	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒

取組 3	下水道施設の耐水化											
概要	河川が氾濫し洪水が発生した場合、地震により津波が発生した場合及び高潮が発生した場合に、浸水が想定される下水道施設（処理場、ポンプ場*）の耐水化を図ります。											
主な事業	<p>ポンプ場耐水化 3箇所 ※都、結城野、寒川雨水 処理場耐水化 1箇所 ※中央浄化センター</p>											
実施計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
計画策定	⇒											
都ポンプ場		⇒	⇒									
結城野ポンプ場		⇒		⇒								
寒川雨水ポンプ場				⇒	⇒							
中央浄化センター					⇒	⇒	⇒					
インプット	処理場・ポンプ場耐水化					4箇所						
アウトプット				目標の方向性			現状値（R4）			目標（R14）		
耐水化整備率	増（↑）			0 %			100 %					



取組 4	防水板設置工事費の一部助成
概要	2011（平成23）年4月より、浸水被害の軽減を図るため、住宅などの出入り口に防水板の設置を行う方に対し、工事費の一部助成を行っています。
主な事業	助成対象：防水板の設置及びその設置に伴う関連工事 限度額：助成対象となる工事費の2分の1とし、75万円を限度

取組 5	雨水貯留施設・浸透施設の設置費用の一部助成
概要	家庭でもできる浸水被害防止と地下水涵養など水環境の保全対策として、公共下水道*に接続し不要となった浄化槽の雨水貯留槽への転用や雨水浸透ますの設置に対して、設置費用の一部助成を行っています。（2001（平成13）年度からは市販貯留槽を追加）
主な事業	<雨水貯留施設・浸透施設工事に対する助成> ・補助対象区域：下水道計画区域*内 ・PRについて ①地元自治会への説明、ポスターの掲示、ツイッター、フェイスブック等 ②自治会・関係機関に対してリーフレット配布（下水道各課） ③各区の公共施設にPR用の雨水貯留槽を設置